

平成27年度 対策一覧表

【土田小学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
土1	土田2246番地付近(花軒) 市道12号線・6075号線・6068号線 交差点	通学路と交差する市道12号線は、朝の通学時間帯に国道41号の抜け道として交通量が多い。	市道12号を通行する車両に対して交差点通行に注意を促すため、交差点表示(十字マーク)および巻込み破線の設置と児童通行表示を検討します。	市土木課
土2	西下町クラブ西 市道6075号線・赤道 交差点	通学路路面に貼り付けられた「とまれ」の表示がポロポロになっている。幅員が狭く見通しの悪いカーブであるため何らかの安全対策が必要。	児童用止まれ表示は、交通安全協会土田支部で対応済。徐行表示および通学路表示は、道路幅員が狭く看板等の設置は危険と考えます。	市土木課
土3	甲山製作所工場南 市道12号線・6070号線 交差点	朝夕の交通量が多い道路で通学路であることから安全を確保したい。	市道12号線カーブ西側に徐行表示があります。市道6070号線の交差点が広いので、ゼブラで絞り、ポストコーン設置を検討します。	市土木課
土4	天理教東山布教所西 可児川5号踏切付近 市道12号線	車がすれ違える道幅がなく、児童の通行中に車が踏切内に侵入することがある。	踏切の拡幅は、中長期課題として考えていますが、踏切内に外側線を設置できるよう鉄道事業者に要望します。児童通行注意の看板については市で用意しますので地元で設置をお願いします。	市土木課
土5	井之鼻自治会館西100m～ 市道16号線	幅員が狭いにも関わらず朝夕は交通量の多い道路である。	消えている白線は順次復旧します。カラー舗装は、平成28年度に市道16号線の一部を改良する工事の予定がありますので、その中で検討します。	市土木課
土6	東山公民館北 可児川8号踏切周辺 市道6028号線、107号線、6029号線	道路幅員、踏切が狭く朝夕の交通量も多いため、歩行者や通学児童が危険に晒されている。大型車両の通行も多く危険である。	消えている白線は順次復旧します。	市土木課
土7	カヤバ北工場西 東山歩道橋 県道菅刈今渡線・ 市道14号線・105号線	降雨、降雪、凍結時に滑り、非常に危険である。	床材にコケが生え滑りの原因と推測しますので、清掃を検討します。	可茂土木事務所

【春里小学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
春1	市道7156号線・7158号線・7132号線	近年、住宅が増え車の交通量が多く小中学生の通学路として利用されており農作業に支障をきたすことがあるため。	道路拡幅の予定はありません。通行車両に配慮を促す看板等を地元で設置するようお願いします。なお、看板等の資材は、市が提供します。	市土木課
春2	キグナスGSからユニオンホール 西可児入口手前交差点まで 市道23号線	交通量が多く大型車の通行もある。小学生通学路で南側にはカーブあり見通し悪い。なお、登校時は安全指導員の方々が指導されているが下校時は子ども達のみであり危険。	歩道設置の予定はありません。現在の通学路は市道23号線の西側を通行していますが、路側帯が狭くカラー舗装の効果も見込めません。東側を歩行し市道7149号線との交差点で横断する等の通学路変更がなされれば、東側路側帯内のカラー舗装を検討します。	市土木課 市学校教育課

平成27年度 対策一覧表

【今渡南小学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
今南1	下恵土地内・スタールカフェ東 市道5115号線	幹線道路への抜け道として道路幅の割に交通量多い。朝はグリーンベルト上を児童が二列で歩いているが自動車に対向するときにはグリーンベルト上を走行して危険である。	車両に対して注意を促すため、路側帯の白線上に部分的に数カ所、ポストコーン設置を検討します。なお、ポストコーン設置や通学時間帯の交通規制については、地域住民(沿道沿い等)や関係する事業所の合意形成が必要となります。規制する道路沿線の住民、事業所の同意を得たうえで要望してください。	市土木課

【今渡北小学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
今北1	JR太多線第一川合踏切付近 市道6号線	踏切が狭く自動車と接触する危険がある。道が狭いうえにガードレール下の段差があるため児童が足を踏み外してしまう。また踏切部分でガードレールと踏切構造物の間に隙間がある。	踏切の拡幅は、鉄道事業者や関係機関との協議が必要であり、接続する道路改良も必要となりますので、現状では困難です。ガードレール下段差の舗装については、形状的に困難です。踏切部分でガードレールと踏切構造物の間に隙間がある個所には、ロープ等による侵入防止策を鉄道事業者と協議します。	市土木課
今北2	川合西地内 市道5018号線	小学校の通学路となっているが歩道(路側帯)が片側にしかなく狭いため危険な状態である。子どもが安心安全に通学できるように、歩道部分にカラー舗装を要望する。	路側帯にカラー舗装を検討します。	市土木課

【広見小学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
広1	みなもり内科クリニック南 市道3187号線	歩行者用道路がないところは白線が引いてあるが消えかかっている。朝の通勤通学時間には車両のすれ違いがあるが道路が狭いため歩行者が危ない。	今年度、白線の復旧を予定しています。また、路側帯内のカラー舗装について検討します。	市土木課
広2	中恵土34-2先 市道3004号線・3009号線 交差点	見通しの悪い交差点で、南から来る車両や歩行者は、東西から来る車両や歩行者が見えないため、飛び出しがあり危険。	現地の状況を確認したところ、カーブミラーを設置する場所を確保することは困難と判断します。市道3004号線を通行する車両に対して、交差点通行に注意を促すため、交差点表示(T字マーク)の設置および児童通行表示を検討します。	市土木課
広3	名鉄明智駅ロータリー西 市道51号線・赤道交差点、 市道111号線	駅前の道路を横断するときに横断歩道がない。(51号線)さらに横断した後の歩道が狭く、登校時間と通勤時間が重なり危険である。(111号線)	市道51号線については、道路幅員が狭く横断者の待ち場の確保もできないため、横断歩道の設置はできません。周りの交通に注意して安全に歩くよう繰り返し指導したり、登下校見守りなど地域との連携を密にするなど学校でできる対応を引き続きお願いします。	可児警察署 市土木課 市学校教育課

平成27年度 対策一覧表

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
広4	柿田 可児ッテ駐車場 (市道3293号線接続路)	可児ッテ駐車場から柿田住宅地へ入る通路の先は通学路となっており抜け道として利用されると非常に危険である。通路には「この先地元車両以外はご遠慮願います」の標識があるが標識の前に該当のポールがあるため文字が読めないうえ侵入してからでないと分からない状況であるため、標識の移動を希望する。	多治見砂防国道事務所対応済です。	多治見砂防国道事務所 市経済政策課
広5	JR太多線乗里踏切付近 市道25号線	通学路にもなっており、朝夕の通勤時間帯に交通量が多く、歩行者は大変危険な状況にある。	鉄道事業者に要望書を提出済み。ただし、踏切の拡幅には鉄道事業者のほか多くの関係機関との協議が必要となるため、中長期課題として検討していきます。また、踏切内の黄色テープについて、現在土止めブロック横に設置されているものを外側線の延長に移動することも検討します。	市土木課

【旭小学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
旭1	旭小学校と可児クレーンの間の山地 市道2171号線	近年の集中豪雨(ゲリラ豪雨)等の雨により土砂崩れの危険性があり通学児童の安全性が確保できないため。	要望の法面は公共用地ではないため、地権者の協力が得られれば、通学路であることや現地の状況から、数年前に崩れた形跡のあるところなどに応急的な対策を講じます。	市土木課
旭2	海印寺とクリーン精米所の間 市道34号線	白線が消えてしまい路側帯と車道の区別がないため危険。	白線は復旧済です。	市土木課
旭3	三峰温泉出入口付近下り坂 市道44号線	下り坂のコーナーのため速度が出やすく車の通りも多く大変危険。緑色の路側帯が途中で消えている。	カラー舗装は設置済です。	市土木課

【中部中学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
中1	中部中南 ファミリーマート前 主要地方道土岐可児線・市道2212号 線交差点	以前は通学路として通行していたようだが現在は特別な事情がない限りは通行しないことになっている。保護者が車で送迎のためにファミリーマート付近を利用するため、生徒が通行しているのが現状である。信号もなく横断歩道も少し交差点から離れているため危険な状況である。	ファミリーマート前の信号機および横断歩道の設置について、現状では待ち場の確保ができないため困難です。もし、信号機が設置されても、T字交差点付近になり、交差点からある程度の離隔の確保が必要になります。	可茂土木事務所 可児警察署
中2	まほら会館南交差点・広見井川地内 市道19号線・3117号線・3107号線交 差点、市道3119号線	・まほら会館南交差点：見通しが悪く信号のない交差点を横断するため車との接触の恐れがある。 ・広見井川地内(市道3119号線)：細い道を300名が通るので地域住民の車との接触等で苦情が多い。	押しボタン信号の設置には、待ち場の用地協力が必要です。また、交差点部をガードパイプ等で困うこととなり、現状より交差点が狭くなります。なお現在、自転車横断帯の設置は行っていません。	可児警察署 市土木課

平成27年度 対策一覧表

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
中3	みずきヶ丘団地入口T字路 市道24号線・26号線交差点	団地から登校する際にT字路に向かってかなり長い下り坂を自転車で通ってくる。T字路で車道に出てしまい事故になりそうな事案があった。交通量も多く危険である。雨天時にグレーチングで滑ることもあり危険である。	学校において、交差点で自転車は一時停止をするよう指導の徹底をお願いします。 現状、グレーチングに滑り止めが施工されていますが、車両通行により剥がれている箇所が見られますので、修繕を検討します。	市土木課 市学校教育課
中4	JR太多線国京踏切 市道4007号線・4016号線	昨年度生徒が事故を起こした現場。地域の方も含めて、細い道をノンストップで進み線路を横断している。	昨年発生した事故を踏まえ、踏切入口に注意喚起の看板、ミラー等の設置が行われています。必要であれば、踏切入口の真ん中にポストコーンの設置を検討します。なお、指定された通学路は、踏切を渡らないことになっているため、学校において通学路を通よう指導を徹底してください。	市土木課 市学校教育課
中5	田白橋南・元コンビニ付近 市道62号線・4006号線・(2300号線)	曲がった坂で車からの見通しが良くない。信号のない交差点を横断していくため、自動車との接触等が心配される。みずきヶ丘方面に約300名が下校していく中、横断歩道のある交差点中心に分散して横断している。横断歩道のない交差点の方が道なりにみずきヶ丘方面に向かうのでそちらを使う生徒が多いのが現状である。	現在の横断歩道および横断歩道のない交差点は、待ち場を確保できないため、押しボタン信号の設置はできません。市道62号線は、交通量も多く現地は坂とカーブがあり見通しが良くないため、横断歩道のない交差点での横断はしないよう学校にて指導を徹底してください。	可児警察署 市土木課 市学校教育課

【帝京可児高等学校中学校】

項番	危険箇所・要注意個所の場所 路線等	通学路の状況・危険の内容	対策(案)	担当
帝1	帝京大学可児高等学校中学校 正門坂下(入口) 市道27号線・2399号線交差点	本校自転車通学者が正門から坂道(市道)を下校する。坂の下を右折、左折する際、曲がりきれず、縁石に接触、また、他校の生徒と接触し、転倒する事故が発生している。幸い、大きな怪我や事故には至っていないが、道路側に転倒した場合には、大きな事故につながる事が懸念される。次の対策を要望する。 ①ガードレール(防御柵)の設置 ②横断歩道の移動(坂道方向へ1メートルほど) ③自転車用標識(止まれ等)の設置 ④街灯(現在1つあるが、暗い)	①交差点部にガードパイプを設置することを検討します。なお、学校においても、交差点進入時に、自転車は一時停止を行うよう指導徹底してください。 ②横断歩道の移設はできません。 ③自転車に対して交差点での一時停止を促す看板は学校で設置をしてください。(道路敷に設置の場合は別途道路占用の手続きを行ってください。) ④交差点を照らす道路照明灯の設置を検討します。	可児警察署 市土木課 市学校教育課

※対策検討メンバー 可児市教育委員会、可児警察署、岐阜県可茂土木事務所、可児市土木課